

設楽ダム建設事業の検証に係る検討

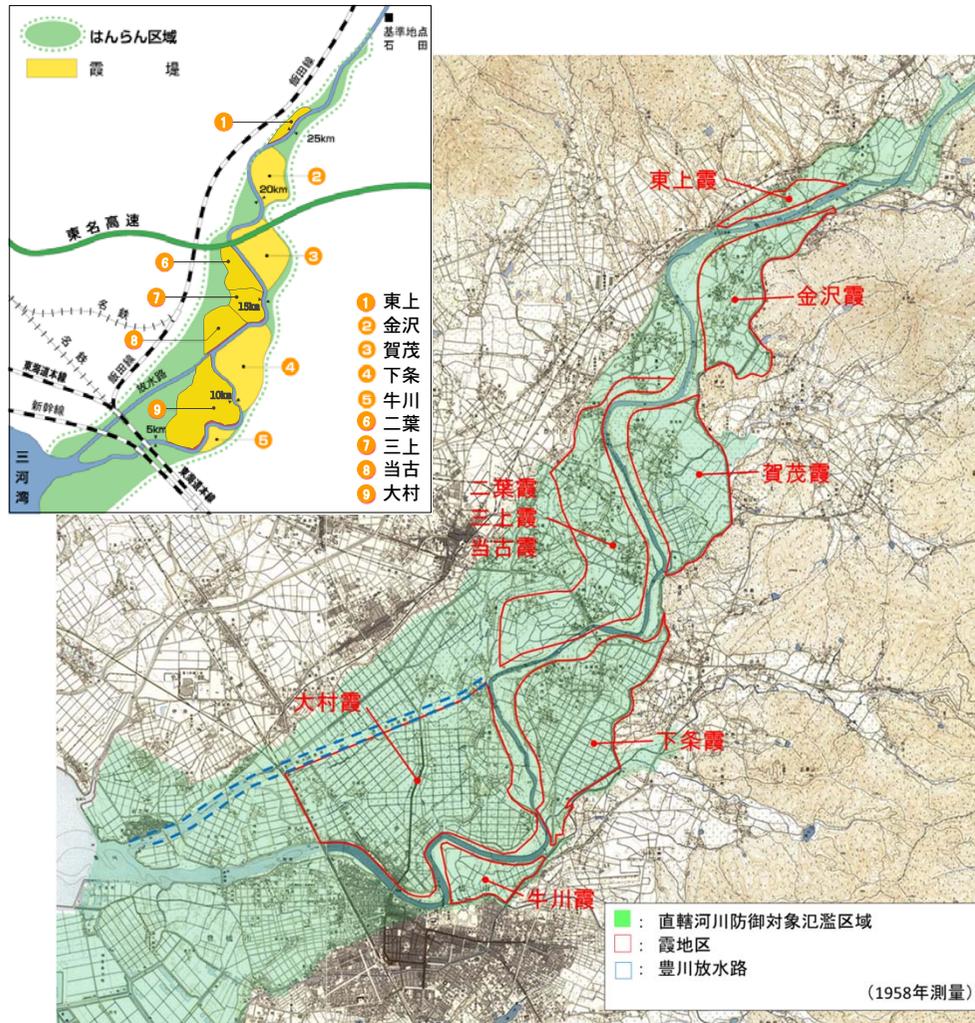
補足説明資料

平成26年4月
国土交通省中部地方整備局

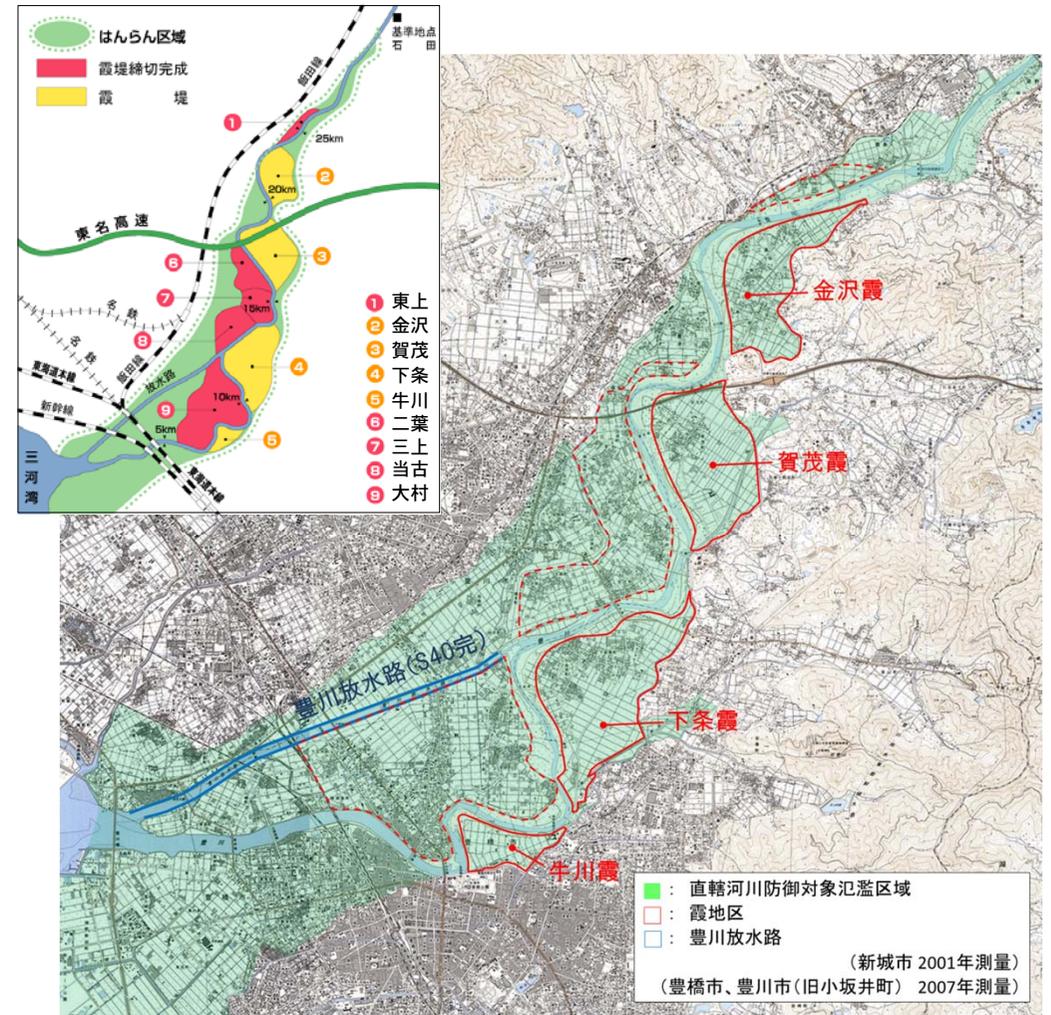
豊川沿川の開発の状況(昭和30年代と平成20年代の比較)

■ 締め切った豊川右岸の霞堤地区では、霞を締め切る前の昭和30年代に比べ、平成20年代になると周辺市街地の発展と合わせ、旧霞堤地区でも開発が進んでいます。

■ 昭和30年代(豊川放水路完成前、霞堤締め切前)



■ 平成20年代(豊川放水路完成後、右岸霞堤締め切後)



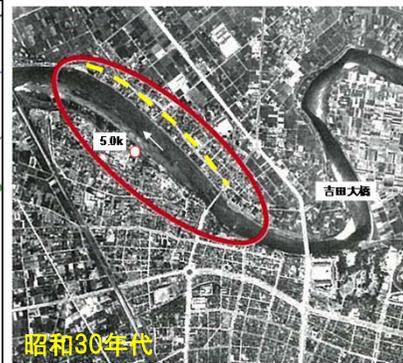
※地形図については国土地理院HP 地図・空中写真閲覧サービスより引用

昭和44年8月洪水(戦後最大規模)と平成23年9月洪水(戦後第3位(流量))の状況

■ 河道改修の経緯

< 狭窄部対策(昭和63年完) >

昭和43年8月、昭和44年8月と洪水が相次ぎ、昭和46年の石田地点の基本高水ピーク流量 $7,100\text{m}^3/\text{s}$ とする計画の決定を受けて、本川下流部の狭窄部対策を昭和46年度から実施。約100戸の家屋移転を伴う築堤、護岸等の改修工事に15年間を要し、昭和63年度に概成した。



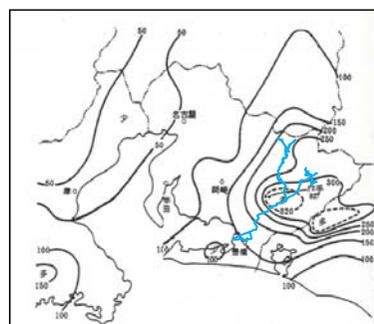
施行前



施行後

■ 昭和44年8月洪水

台風7号の大雨により戦後最大規模の洪水(石田地点:約 $4,600\text{m}^3/\text{s}$)※となった。豊川では堤防が決壊し甚大な被害が発生。



降雨量分布図
[昭和44年6月25日9時~26日9時]



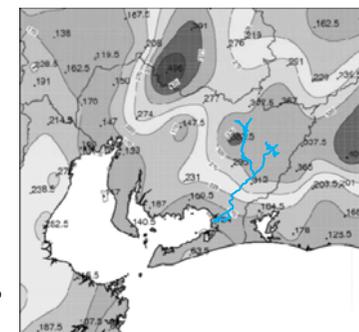
昭和44年8月洪水 浸水実績図



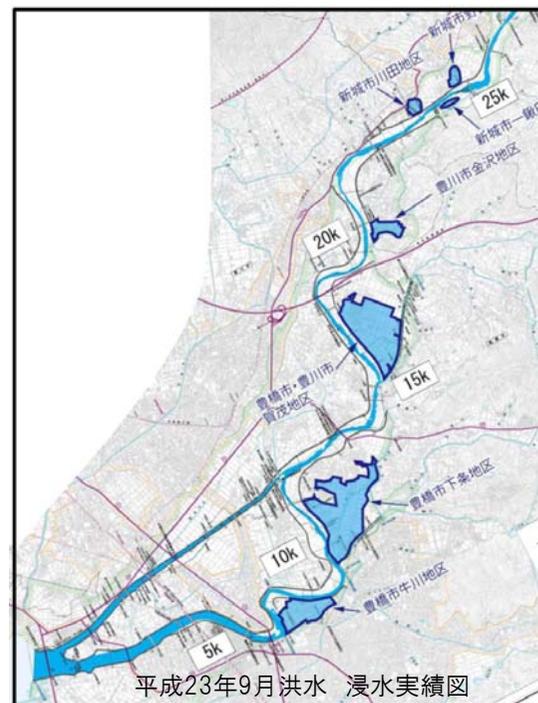
堤防決壊
[宝飯郡一宮町(現豊川市)江島]

■ 平成23年9月洪水

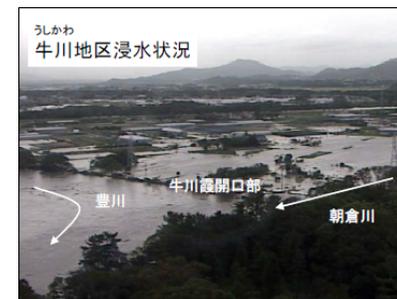
台風15号により前線が活発化し、東三河北部、西三河北東部を中心に大雨となった。石田地点では戦後第3位の流量(約 $4,000\text{m}^3/\text{s}$)※を記録したが、震地区を除いては大きな被害は発生していない。



降雨量分布図
[平成23年9月19日17時~21日19時]



平成23年9月洪水 浸水実績図



※石田地点流量は実測最大流量(毎正時)を示す